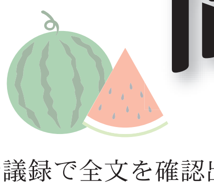
一般質問

市政を問う

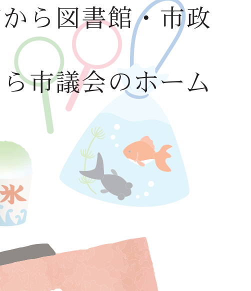
定例会では、市政全般について議員から一般質問が行われます。今回は23人の議員が質問に立ち、39項目について行政の対応を質しました。掲載内容は、その要約です。 ※発言順に掲載

会議録の閲覧と検索



質疑や答弁などの詳細は、会議録で全文を確認出来ます。
➢第２回定例会の会議録は、8月下旬から図書館・市政図書室で閲覧出来ます。
➢会議録検索システムは、8月下旬から市議会のホームページで利用出来ます。

インターネット中継



本会議の様子を市議会のホームページからご覧ください。
➢生中継は本会議当日のみ。
➢録画中継は、本会議当日の4日後（土曜・日曜日、祝日を除く）から。
➢スマートフォンやタブレット端末からでもご覧いただけます。

1 大高 哲史（日本共産党）

院長相談役の雇用問題 市長は、病院発展のために責任を果たせ！

問 元副市長を臨時職員として雇用するに至る経過について問う。

答 副市長を退任後、市立病院経営専門監を経て、院長相談役として勤務していました。

問 院長相談役の雇用契約について問う。

答 平成24年4月から平成31年3月まで、その都度、必要性を吟味した上で任用し、半年ごとに雇用確認書を締結していました。

問 勤務実態とタイムカードに相違はないか。

答 その時間帯は勤務していたと認識しています。

問 時間外勤務について問う。

答 条例に基づき手当を支給していましたが、土日などの時間外勤務が常態化していたことは、改善すべきと考えています。

2 池田 利恵（自民党日野）

遺族支援コーナー設置で故人と遺族に寄り添う行政の実現を

問 遺族に対しての支援体制を問う。

答 手続が必要な部署がわかる一覧を作成し、わかりやすい案内に努めています。また、ホームページに「おくやみ」というコーナーを設けて、手続きの案内をしています。

問 専門職員の配置について市の見解を問う。

答 先進市の取り組みを参考に検討します。

緊急災害時日野市職員はどう動いたか！

問 市内のアパートで発生した火災での対応について問う。

答 消防団メール配信システムにより情報伝達時間が短縮され、また、障害のある方を無事に救出できたのは、関係部署、地域住民が迅速かつ的確に役割を果たした結果と考えます。

3 有賀 精一（無会派）

市税投入の川辺堀之内区画整理組合組織・経理の公開を求める！

問 元副市長の理事長相談役としての収入を問う。

答 組合全ての情報を市が保有していないので、引き続き委託の全容について開示を求めます。

問 元副市長への報酬分を返還請求する意思があるか。

答 組合に対する助成金の交付は適正であるため返還は求めません。

市立病院の管理・運営の健全化に向けて

問 元副市長は管理職か。

答 臨時職員であり、管理職ではありません。

問 元副市長はハラスメント等防止対策委員会委員に属していたか。また、委員会に議事録があるか。

答 委員に属していました。また、委員会開催ごとに議事録は残しています。

4 田原 茂（公明党）

認知症の予防・早期発見と共生及び成年後見制度について

問 認知症予防の取り組みについて問う。

答 適度な運動と社会的孤立の解消は認知機能の低下防止に効果があるため、ひの健幸貯筋体操やふれあいサロンなどを活用し、高齢者が生き生きと暮らす地域づくりを進めています。

問 在宅診療について問う。

答 今後、認知症による在宅患者の増加が見込まれるため、在宅療養のさらなる充実を図ります。

問 市民後見人の育成について問う。

答 多摩南部成年後見センターなどで育成講座を開催しており、現在4名が活動しています。

問 親族後見人のサポートについて問う。

答 地域包括支援センターなどで随時相談支援に応じています。

5 窪田 知子（公明党）

SDGs 持続可能な社会の実現に向け日野市の取り組みを問う

問 現在の取り組み状況について問う。

答 第２次ごみ改革などを提案事業として取りまとめ、２０１９年度ＳＤＧｓ未来都市に応募しました。この活動の中で、分別の徹底、ごみの削減、食品ロスの関心を高め、持続可能なまちづくりを目指します。

問 ＥＳＤ（持続可能な開発のための教育）について市の認識を問う。

答 第３次学校教育基本構想と学習指導要領に基づいた教育がＥＳＤの考え方に沿った教育と捉えています。

問 教員の取り組み状況について問う。

答 研究奨励校に指定した第八小学校の研究成果を広めることにより、市内の教員がＥＳＤを学ぶ機会を提供します。

6 岡田 旬子（日本共産党）

誰もが安全、安心に保育を受けられる日野市へ

問 大津市の事故を受けて、市内保育園の散歩コースの状況確認や安全点検は行ったのか。

答 各保育施設における園外保育については、交通事情や道路状況を職員間で把握し、情報共有しながら、安全な経路と必要な人員体制を整えています。安全管理を改めて再点検し、徹底するよう周知しました。

早急な調査の実施を！〜誰もが自分ごととして受け止め、寄り添うひきこもり支援を〜

問 ひきこもり支援について市の取り組みを問う。

答 調査により実態を把握した上で、学校、保健所などの関係機関と情報を共有し、一体的な支援を行う仕組みを考えていきます。

7 鈴木 洋子（自民党日野）

子育てしたいまちへ〜高齢者の生活を支えながら〜子供の命を守ろう！

問 高齢者による運転免許自主返納について問う。

答 自主返納した場合、有料で証明書を発行しており、自主返納サポート協議会に加盟する企業や団体、都の文化施設の割引などが受けられます。

問 生活道路の安全策を問う。

答 区画線の設置や路側帯内のカラー舗装化、車道のセンターライン消去、ポール設置による自動車走行速度の抑制策が行われています。

楽しい子育てと豊かな暮らし向上を地区センターの活用から

問 稼働率上昇のための今後の展望について問う。

答 子育て世代、高齢者がより気軽に立ち寄れる使いやすい地区センターを目指します。

8 白井 菜穂子（チームひの）

笑顔でワクワクできる健康施策の充実を！

問 日野市スポーツ推進計画改訂版について問う。

答 スポーツ活動の実態、意識を把握するアンケート調査を実施し、次年度にはスポーツ推進計画策定委員会を設置します。

問 体操指導者を派遣する仕組みについて問う。

答 地域の要望に応じてスポーツ指導者、健康体操サポーターを派遣しています。

避難所運営マニュアルにスフィア基準を！

問 避難所運営マニュアル作成状況について問う。

答 地域防災会を立ち上げ、地域の実情にあったマニュアルを地域自主で作成しています。

問 市は、スフィア基準を意識しているか問う。

答 地域防災計画改定においてスフィア基準などを調査研究します。

9 奥住 匡人（自民党日野）

商業振興の実現で活力と賑わいのあるまちへ

問 市内商業の取り巻く環境の変化と現状について問う。

答 近年、インターネット販売の隆盛や市民の購買行動の変化、また、事業者の高齢化や事業継承問題など、環境は大きく変化しています。9年前と比較して、商業全体で約4分の1の事業者が廃業しています。特に、小売業は20年間で397事業所、42・1％減少し、約半数近くの事業所が減少しています。

問 4月より施行された商業振興条例について、商業者からの意見や要望について問う。

答 今年度、魅力ある個店づくり支援を掲げ、商工会や商店会連合会など連携して直接、支援メニューの構築のため意見や要望を商業者を訪問し、伺っています。

10 中野 昭人（日本共産党）

第三者検討委員会の報告を受けて市長はどう判断するのか〜黒川清流公園内の湧水枯渇問題について問う〜

問 市は報告をどう受けとめて対応するのか。

答 継続して湧水路調査などを実施し、モニタリング管理協議会を設置するなど、検証を行います。

川辺堀之内土地区画整理組合の理事長相談役をめぐる問題について

問 この問題についての対応と認識を問う。

答 必要があれば、区画整理法第123条に基づき、助言・勧告を行います。

問 市は個人委託をいつ把握したのか、その手法についての認識を問う。

答 本年3月に確認しました。委託の成果を確保する観点から、履行の確保をいかに担保するかが課題と認識しています。

11 伊東 秀章（無会派）

保護猫・犬連絡協議会設置について問う

問 協議会と市の協力体制を問う。

答 協議会が設置された際には、ボランティアとの連携を検討します。

問 高齢者が飼っている猫や犬の現状対策について問う。

答 飼い方講習会や広報などで、飼い主の責務を啓発することにより、飼い続けられない動物が生じないよう取り組みます。

市道の歩道・道路について問う

問 道路反射鏡の今後の対応を問う。

答 危険度に応じて優先順位を定め、対応します。

問 道路舗装補修計画における振動について市の見解を問う。

答 振動対策を十分に考慮した計画となっており、着実に補修を実施していくことが振動対策に直結するものと考えます。

12 谷 和彦（自民党日野）

働き方改革―健康経営を考える―について

問 ストレスオフに向けた対策について問う。

答 ストレスチェックの実施や外部相談窓口などを設置し、未然の防止や解決につなげています。

ホタルが生息できる環境について

問 市の取り組みを問う。

答 ボランティア団体と連携して、雑木林などの自然環境を保全するなど、日常の管理に努めます。

持続可能な開発目標―ＳＤＧｓの推進―について

問 住み続けられるまちづくりの市の取り組みについて問う。

答 広範囲にわたる施策を盛り込んだまちづくりマスタープランを推進することが、ＳＤＧｓの目標達成に資すると認識しています。

13 馬場 賢司（公明党）

日野宿周辺地域でのイベント開催、今後の公共施設整備やまちづくりについて

問 イベント開催時におけるJR日野駅とのかかわりについて問う。

答 土方歳三没後150年のプロモーションに協力をいただいており、今後もこの協力関係を発展、継続させたいと考えます。

問 日野宿周辺における公共施設の整備状況について問う。

答 中央公民館周辺施設についての施設集約案を複数作成しており、今年度から地域住民の意見を伺う予定です。

今後の小・中学校のトイレ改修について

問 未実施の学校に対する対応について問う。

答 トイレ改修は主要な事業と考えているため、洋式便器への交換など簡易な部分改修も同時に進めます。

---

14 大塚 智和（公明党）

命を守る安全・安心のまちづくりをもう一度考える

問 高齢者ドライバーを対象とした取り組みについて問う。

答 警察署と協力し、運転技術の確認ができる安全運転教室や教習所の指導員による交通安全講話などを実施しています。

問 道路の安全対策について問う。

答 道路の形状や交通事情に合わせ、関係部署と連携し、園外保育中の移動経路や通学路、生活道路の安全確保に努めます。

空家条例施行後の進捗を問う

問 取り組み状況を問う。

答 空き家の適切な管理や活用など計画の目標達成に向けて取り組みます。

問 空き家店舗への対応について問う。

答 異業種による活用などさまざまな視点から新たな手法を検討します。

15 島谷 広則（チームひの）

日野市介護予防・日常生活支援事業（総合事業）について

問 生活援助型の今後のあり方について問う。

答 報酬単価の見直しや土日に研修を実施するなど、生活援助型サービスの担い手となる人材を確保します。

問 介護給付適正化の取り組みについて問う。

答 ケアプランが利用者の自立支援に資するケアマネジメントになっているか確認するなど、持続可能な介護保険制度の運用に努めます。

若年層「消費者保護」の取り組みについて問う

問 今後の方針について市の見解を問う。

答 啓発活動を継続、発展させると同時に、地域懇談会やアクションプランなど、若者が地域の一員として活動することを支援していきます。

16 新井 智陽（無会派）

地域に住む全ての子どもが健やかに育ち、子どもたちがつながる居場所づくりに向けて

問 子どもの学習、生活支援事業ほっとともの現状について問う。

答 市内4カ所で実施し、現在55名が参加しています。スタッフ間で情報共有を図り、問題などが見受けられる場合は、関連部署と調整を図り、支援を行っています。

日野市在宅療養体制構築のための基本方針について

問 日野市医師会と締結した包括的連携協力に関する協定について問う。

答 全ての世代の市民が、健康で安心して住み続けられるまちづくりを実現するために、在宅医療の基本方針に沿った具体的な内容や取り組み方法などについて、連携確認会議で協議を進めます。

17 峯岸 弘行（公明党）

学校の「当たり前」を見直す教育改革について

問 教員の出退勤管理システム導入後の現況と効果について問う。

答 在校時間が把握できるようになり、これらのデータから客観的に働き方改革の改善を進めます。

商店街振興策について

問 検討メニューはあるのか。

答 市広報などを活用し、商店会の特色や事業などを紹介して、見える化事業に取り組みます。

新選組のおもてなし策について

問 日野宿本陣での定期的な特別資料の展示はできないか。

答 長らく展示内容の変更は行っておらず、今後は関連資料の入れ替えを定期的に行い、来館者の関心と理解を高めます。

18 秋山 薫（チームひの）

待機児が減少した今、保育事業の充実に向けた市の対応について問う！

問 保護者の保育ニーズの変化を市は把握しているか。

答 利用者のニーズを把握し、各保育施設の保育の質の向上を支援するとともに、適切な情報提供に努めます。

問 希望が通らない入園や転園を希望する保護者の要因を問う。

答 転園の相談の中で自宅近くへの転園、通勤経路の変更に伴う転園、保育内容が利用者のニーズに合わないなどの理由が挙げられます。

問 保育の質や特色についての取り組みを問う。

答 新しい保育施設が増えたため、利用者の選択肢は広がり、各保育施設が利用者のニーズに応えられるよう保育内容の質を確保する施策に取り組んでいます。

19 森沢 美和子（チームひの）

世代を乗り越えた多様性のある支援の提供を〜在宅療養体制と若者の支援について問う〜

問 高齢者の見守り連携の新たな対策を問う。

答 ＵＲ都市機構と協力して、支援が必要な高齢者の情報を共有するなど、地域での新たな見守り体制の展開を始めています。

問 18歳以上の若年支援の相談窓口について問う。

答 セーフティネットコールセンターで初期相談し、必要に応じて担当部署につなぎ、円滑に問題解決できるようにサポートします。

問 性的虐待を受けている被害女性の相談窓口について問う。

答 男女平等課で実施する女性相談が窓口となりますが、電話予約の際に緊急性があると判断した場合は、庁内の支援担当部署や庁外の支援機関へつなげています。

20 清水 登志子（日本共産党）

「これ以上騒音を増やさないで」という住民の立場で、横田基地の軍民共用に反対の声をあげよ

問 国や都から情報提供があるか問う。

答 情報提供などはありませんが、今後も情報収集に努め、都を通じ安全対策の徹底を求めます。

市立病院ハラスメント問題、二度と起こさないために徹底した原因究明と実効性ある対策を

問 ハラスメント等防止対策委員会が対応できなかったことについて問う。

答 報告があった際、委員会内で対応の方向性について意見が統一できなかったことが原因と考えます。

問 ハラスメントをなくす条例づくりを問う。

答 人権条例制定については先進事例を参考にして調査研究していきます。

21 古賀 壮志（自民党日野）

豊田駅方面の総合的まちづくりについて

問 都市計画道路３・３・２号線について問う。

答 早期開通を目指し、国土交通省と連携して用地確保と仮設道路の整備を推進しています。

問 都市計画道路３・３・21号線の整備効果について問う。

答 広域道路網が強化されることでまちづくりが推進され、魅力ある地域が形成されると考えます。

問 豊田駅南口86街区について問う。

答 健全な土地利用を図るため、敷地と建築物の共同化を進めており、実現に向けて理解の促進や権利者の合意形成の深化を支援します。

問 豊田駅南北自由通路について問う。

答 時間を要する課題ですが、駅周辺開発を適正に誘導する中で、ＪＲとの協力を引き出せるように取り組みます。

22 近澤 美樹（日本共産党）

ごみ処理広域化―市長は住民のもとに出向き、その声に真摯に向き合う対話を！

問 北川原広場の管理用通路について問う。

答 通行することのできる車両は広場を維持する車両、新可燃ごみ処理施設建設工事車両、新可燃ごみ処理施設への可燃ごみ搬入車両のみです。広場への入り口となる横断箇所にはガードマンによる交通誘導を行い、利用者の安全面の確保に努めます。

問 新可燃ごみ処理施設の夜間工事について問う。

答 工事のお知らせについて周辺住民への配慮が足りなかったと感じています。

問 住民の理解を得ることについて問う。

答 地元住民にはクリーンセンター連絡協議会、クリーンセンターだよりを通じて丁寧な説明に努めます。

23 奥野 倫子（無会派）

「セクハラ・パワハラの解決」「行政のガバナンス改革」を！

元副市長の行政私物化を徹底的に検証せよ！

問 第三者委員会への元副市長に関する情報提供について問う。

答 院長相談役になるまでの経緯、議会でのやりとり、マスコミ報道などを口頭で情報提供しています。

問 雇用は地方自治法に触れていないのか。

答 事務手続き上の不備はありましたが、雇用に関しては正当だったと認識しています。

問 地方公務員法兼業禁止規定違反にどう取り組むのか。

答 事実として確認できた場合、給与などの取り扱いについて、返還を求めることも含めた対応を早急に検討することになると考えています。

皆さんからの請願

第２回定例会では、１件の請願が新たに提出され、所管の常任委員会で審査が行われました。定例会最終日の本会議の審議結果は、次のとおりです。

付託先	請願の件名	結果
民生文教委員会	75歳以上の後期高齢者医療保険料の値上げと医療費窓口負担の２割化に反対する意見書提出を求める請願	不採択

請願や陳情の出し方は、日野市議会のホームページにも掲載しています。詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

仏と稲穂と青い空 撮影：横山 博さん
日野市観光協会主催「伸びゆく日野市写真コンクール」入賞（東光寺成就院裏）

？ 一般質問とは、議員が市の事務の執行状況や、将来の方針などの説明・報告を市長などに求めるものです。これによって、市が市民のために適切な市政運営を進めているか、議員がチェックします。質問方法は、効率的に議事が進行するように、あらかじめ質問の趣旨を伝える通告制を採用しています。年４回の定例会ごとに一般質問をすることが出来ます。また、１回の持ち時間は質疑・答弁を含めて60分となっています。

主な議題

１面に続き、令和元年第２回定例会で審議された主な議題を紹介します（議案名は一部要約しています）。

●令和元年度一般会計補正予算（第３号） 可決

５千732万円を追加し、歳入・歳出予算の総額を694億２千492万円とするものです。

請願・陳情

皆さんの声を市政に

請願・陳情は、市政に関する意見や要望を、議会に対して文書で提出する制度です。請願と陳情とでは、議会での取り扱い方が違いますので、次の点に留意して、議会事務局に提出してください。

【請願】

請願内容を議会で審議し、採決されます。希望により、所管する委員会において、請願の趣旨を説明することが出来ます。ただし、請願の趣旨に賛同した紹介議員１人以上の署名が必要です。

【陳情】

議会閉会中でも、陳情内容を速やかに全議員へ配布します。ただし、議会での審議や採決は行われません。

【請願の提出】

請願の提出締め切りは、各定例会初日の正午です。これを過ぎると、次回定例会での審議になります。

請願の書式（表紙）は左図のとおりです（日野市議会のホームページからダウンロード可。陳情も同様の書式で）。内容は簡潔に記載してください。

なお、請願・陳情とも、郵送では受け付けていませんのでご注意ください。

日野市議会議長
　　　　様

件名
○○○○○○○○○○
　　　　に関する請願
令和　　年　　月　　日

請願代表者
　住所
　氏名　※自署しない場合は押印が必要
　　他○○名
　　（市内○○名、市外○○名）
　電話

紹介議員
　　氏名

※A4判縦又は、A3判横の用紙に横書きで。